

GRIPS、JNNE、名古屋大学、FASID セミナー 教育開発における自助努力と財政支援

今日、発展途上国、特に EFA や MDGs などの国際目標の達成が困難と見られている国々では、教育開発のために受ける援助の額が年々増大しています。世界人権宣言でも謳われている「教育を受ける権利」をすべての人に保証するために、国際社会が一致団結して発展途上国を支援することの重要性は論を待ちません。しかし、援助国・機関に限られた目標のために援助を集中させることにより、被援助国の自助努力や主体的な政策形成・実施を阻害するのではないかと懸念も提起されています。そこでこのセミナーでは、日本の援助の理念の一つである「自助努力を促すための援助」とはどのようなものか、何が課題であるかを議論したいと思います。

第一部「教育セクターにおける経常経費支援は必要か？」では、EFA ファストトラックイニシアチブなどによって拡大しつつあり、日本政府も資金的関与を決定している教育セクターへの経常経費支援に焦点を当てます。援助関係者の間では、経常経費支援は、援助依存を増長するのではないのか？、出口戦略なきまま経常経費支援を始めていいのか？、増大する援助額を適切に使用する能力があるのか？といった懸念もあります。そこで、本セッションでは、経常経費支援を積極的に進めている英国の DFID の教育援助担当者、バングラデシュで強力な EFA 達成のためのキャンペーンを推進している NGO 連合体の代表からご発表いただき、教育セクターにおける経常経費支援の是非について議論します。

第二部「自立的発展のための政策形成と援助」では、グローバル社会の中で途上国が直面する教育政策形成の課題を検討します。途上国は、グローバル経済の中で競争力のある人材を育てる必要や、EFA、MDGs などの国際目標など、外的影響にさらされています。他方、それぞれの国の社会的・経済的特殊性や政治的条件によって規定される個別の教育需要もあり、既存の教育制度も国によって異なります。そうした中で、マクロの要因と国内の要因をどのように調和させ、その国独自の現状分析と計画、政策立案、(実施)を行っていくにはどうすればよいか？また、日本などの援助国は、それに対してどのような役割を果たしていけばいいか？本セッションでは、途上国の内発的教育改革のための政策プロセスと自助努力を促す援助の可能性について議論します。

1. 主催: 政策研究大学院大学(GRIPS)、教育協力 NGO ネットワーク(JNNE)、名古屋大学、財団法人国際開発高等教育機構(FASID)
2. 日時: 2007年10月18日(木)13:00-18:30
3. 会場: GRIPS1階1A、1B会議室
東京都港区六本木7-22-1
都営大江戸線六本木駅徒歩5分、東京メトロ日比谷線六本木駅徒歩10分、東京メトロ千代田線乃木坂駅徒歩6分
<http://www.grips.ac.jp/forum/contact.htm>
4. 言語: 英語
5. 連絡先、申込締切り
参加をご希望の方は、氏名(ふりがな)、所属先、役職、電話番号、メールアドレスを和文・英文で明記のうえ、**10月12日(金)**までに GRIPS 開発フォーラムの岩橋までファックスまたは E メールにてお申し込みください。定員先着 60 名とさせていただきます。

ただきます。

連絡先 GRIPS 開発フォーラム (担当 岩橋美智子)
Tel: 03-6439-6337
Fax: 03-6439-6010
E-mail: michiko@grips.ac.jp

6. プログラム:

第一部 「教育セクターにおける経常経費支援は必要か？」

- 13:00 - 13:05 開会
13:05 - 13:30 発表1 教育における経常経費支援—バングラデシュの場合
Ms. Rasheda K. Choudhury, Director, the Campaign for Popular Education (CAMPE), Bangladesh
13:30 - 13:55 発表2 DFID による教育セクターの経常経費支援の取り組み
Mr. Peter Colenso, Head of Profession, Education, Human Development Group, Policy and Research Division, DFID, UK
13:55 - 14:25 コメント 谷合正明 参議院議員 (ODA 特別委員会理事)
大西 靖 財務省国際局開発企画官
加納雄大 外務省国際協力局多国間協力課企画官
三宅隆史 教育協力 NGO ネットワーク事務局長
14:25- 14:55 自由討論
14:55 - 15:00 まとめ

休憩 15:00～15:30

第二部 「自立的発展のための政策形成と援助」

- 15:30 - 17:00 自立的発展のための政策形成
発表1: タンザニアの経験
- Dr. Eustella Bhalalusesa, Dean, Faculty of Education, University of Dar es Salaam, Tanzania
発表2: カンボジアの経験
- Dr. Keng Chansopheak, Lecturer, Royal University of Phnom Penh, Cambodia
発表3: 自立的発展のための援助への提言
- Dr. Donald Holsinger, Professor, Brigham Young University, USA (Former president of Comparative and International Education Society)
17:00 - 17:15 休憩
17:15 - 18:25 パネル・ディスカッション
コメンテーター:
- アジア開発銀行: Dr. Yasushi Hiroto
- DFID: Mr. Peter Colenso, Head of Profession, Education, Human Development Group, Policy and Research Division, DFID, UK
- NGO: Ms. Rasheda K. Choudhury, Director, Campaign for popular education, Bangladesh
18:25-18:30 閉会

-----Application Form-----

2007年10月18日(木)

**Seminar on Aid for Self-Reliance and Budget Support
for Educational Development**

FAX Reply 03-6439-6010

To: GRIPS Development Forum

Attn: Ms. Michiko Iwahashi

Name	和文
	英文
Title	和文
	英文
Affiliation and Department	和文
	英文
Email address	
Phone number	
I will attend...	Session 1 “Should the recurrent expenditure in education be supported?”
	Session 2 “Endogenous educational policy-making and aid for self-reliance”